

# 4年間の学びのステップ

教養教育については  
P.94、95へ

## 1年次

設計製図の基礎を学び文化・風土との関わりも理解します

1年次は設計製図の基礎をしっかりと学修。建築学に不可欠な数学・物理を学ぶと同時に建築とのつながりを理解します。また、建築と文化・風土との関わりも考察します。

## 2年次

設計とエンジニアリングを融合した、建築の提案に挑戦します

設計とエンジニアリングをより専門的に学ぶと同時に、それらの融合を図ります。例えば「建築設計1・2」では、設計の基礎を発展させ、環境や構造を考慮した作品制作を行います。

## 3年次

グループワークの実習を重ね総合力を身につけます

基礎と専門知識を身につけた後、意匠設計・構造設計・設備設計などの役割を担って共働して作品制作に取り組みます。グループワークを通して異なる分野への理解を深め、コミュニケーション力を身につけます。

## 4年次

卒業設計・卒業研究を行い、専門性と実践力を高めます

卒業設計・卒業研究に取り組みます。自らの課題を発見し、快適で安全かつ持続可能な建築空間、都市空間の創造をめざします。建築の専門性だけでなく協調性やプレゼンテーション力も養います。

科目	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
	<b>専門基礎科目</b> ■ 建築学概論 ■ 創造工学基礎演習1 物理学基礎 化学基礎 数学基礎	■ 創造工学基礎演習2 微分積分 基礎統計学 線形代数 物理学実験 化学実験						
<b>専門基幹科目</b>		■ 静定梁・静定トラスの力学及び力学演習 ■ 建築構造材料	■ 建築設計1 ■ 日本建築史 ■ 温熱環境学 ■ サステナブル建築学 ■ 静定構造の力学及び力学演習 ■ 建築の構造1 ■ 建築工学基礎演習1	■ 西洋建築史 ■ 空気環境学 ■ 建築の構造2 光環境学	建築音響学	 	建築のための英語	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>注目の研究!</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築設計方法や近代建築・建築家に関する研究</li> <li>● 歴史的建造物の保存活用に関する研究</li> <li>● 換気設備の計画設計に関する研究</li> <li>● 室内音響設計、騒音制御、音環境設計などの研究</li> <li>● 昼光利用による心理・生理影響、省エネルギーに関する研究</li> <li>● 耐震補強技術や新構造材料に関する研究</li> <li>● 耐震・制震・免震建築物の耐震性評価に関する研究</li> <li>● 屋上緑化、都市緑化に関する研究</li> <li>● 地震防災工学、液状化対策に関する研究 他</li> </ul> </div>
<b>専門展開科目</b>				■ 建築工学基礎演習2 ■ 建築計画1 ■ 建築設計2 不静定構造の力学	■ 建築計画2 ■ 建築設計3 ■ 建築設備1 ■ 建築生産 ■ 建築法規 現代建築論 地盤工学 鉄骨構造 建築仕上げ材料 建築エンジニアリング演習	■ 建築設計4 鉄筋コンクリート構造 建築設備2 建築基礎構造	■ セミナール1 建築設計5 建築耐震構造 建築構造設計演習  ■ 卒業研究	■ セミナール2 

■:必修科目 / 無印:選択科目 ※カリキュラムは一部変更となる場合があります。